

予防接種を受ける前の確認事項

予防接種は体調が万全な時に受けるのが原則です。

予防接種を受ける予定であっても、体調が悪いと思ったら、接種を受けるのは控えましょう。

慢性の病気をもっている場合は、あらかじめかかりつけ医師にご相談ください。

1. 一般的な注意

安全に予防接種を受けるために、次のことを注意のうえ、当日に予防接種を受けるかどうか判断してください。

(1) 受ける予防接種について、説明書をよく読み、必要性や副反応についてよく理解しましょう。わからないことは医療機関や会場で接種を受ける前に質問しましょう。

(2) 接種の前日は入浴（シャワー）をして、身体を清潔にしましょう。

(3) 当日は体温を測り、朝から子どもの状態をよく観察し、普段と変わったことがないことを確認しましょう。接種を予定していても体調が悪いときはやめましょう。

(4) 着衣を清潔なものにしましょう。

(5) 接種を受ける子どもの日頃の状態を良く知っている保護者が連れて行きましょう。

(6) 予診票は子どもを診察して接種する医師への大切な情報です。正確に記入しましょう。

(7) 母子健康手帳と予診票を必ず持参してください。

2. 病気にかかった後の接種間隔

麻疹、風疹、水痘、おたふくかぜ等にかかった場合には、全身状態の改善を待って接種してください。医学的には、免疫状態の回復を考えて、次の間隔を空けてください。

病気にかかった後の接種間隔

かかった病気		間隔
麻疹	⇒	治ってから4週間程度
風疹、水痘、おたふくかぜなど	⇒	治ってから2～4週間程度
突発性発疹、手足口病、伝染性紅斑など	⇒	治ってから1～2週間程度

3. 予防接種を受けることができない方

(1) 明らかに発熱している（体温が37.5℃以上）方

(2) 重い急性疾患にかかっている方

(3) 予防接種の成分でアナフィラキシーを起こしたことがある方

(4) BCGの場合は、外傷などによるケロイドができたことがある方

(5) B型肝炎の予防接種の対象者で、母子感染予防として、出生後に健康保険の給付によりB型肝炎ワクチンの接種を受けた方

(6) ロタウイルス感染症の予防接種の対象者で、腸重積症の既往歴があることが明らかな方、先天性消化管障害を有する方（その治療が完了した方を除く。）及び重症複合免疫不全症の所見が認められる方

(7) 麻疹、風疹、水痘及びおたふくかぜ等に係る予防接種の対象者にあたっては、妊娠していることが明らかな方

(8) その他、医師が接種不適当と判断した方

4. 予防接種を受ける場合、医師とよく相談しなくてはならない方

次に該当する場合は、予防接種を受ける前に、かかりつけの医師の診察を必ず受けましょう。

- (1) 心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患等の基礎疾患を有する方
- (2) 予防接種で接種後 2 日以内に発熱及び全身性発疹等のアレルギーを疑う症状があった方
- (3) 過去にけいれん（ひきつけ）を起こしたことがある方
- (4) 過去に免疫不全の診断がなされている方および近親者に先天性免疫不全症の方がいる方
- (5) 麻しん（はしか）、風しん、おたふくかぜ、水痘（みずぼうそう）などの病気にかかっていたり、かかっている可能性のある家族や友人に接触した方
- (6) ワクチンにはその製造過程における培養に使う卵の成分、抗菌薬、安定剤などが入っているものがあるので、これらにアレルギーがあるといわれたことのあるお子さん
- (7) ラテックス過敏症のお子さん
ラテックス過敏症とは、天然ゴムの製品に対する即時型の過敏症です。
また、ラテックスと交叉反応のある果物等（バナナ、栗、キウイフルーツ、アボカド、メロン等）にアレルギーがある場合にはご相談ください。
- (8) ロタウイルス感染症の予防接種においては、活動性胃腸疾患や下痢等の胃腸障害のあるお子さん
- (9) BCGについては、過去に結核患者と長期に接触があった場合など、過去に結核に感染している疑いのある方

5. 予防接種を受けた後の一般的注意事項

- (1) 予防接種後 30 分以内に急な副反応がおこることがあります。接種後の様子を観察し、医師と連絡がとれるようにしましょう。
- (2) 接種後、生ワクチンでは 4 週間、不活化ワクチンでは 1 週間は副反応の出現に注意しましょう。
- (3) 接種当日は、はげしい運動は避けましょう。
- (4) 接種部位は清潔にしましょう。入浴は可能ですが、接種部位はこすらないようにしましょう。
- (5) 接種後、接種部位の異常な反応や体調の変化があった場合には、速やかに受診しましょう。

6. 各予防接種の説明と副反応について

種類	説明	主な副反応
ロタウイルス	ロタウイルスは感染性胃腸炎の原因となるウイルスの一つです。	易刺激性、下痢、咳、鼻水など
B型肝炎	B型肝炎ウイルスが血液や体液を介して感染して起る肝臓の病気です。 B型肝炎ウイルスの感染は一過性の感染に終わる場合と、そのまま感染している状態（この状態をキャリアといいます）が続いてしまう場合があります。 キャリアは、成人になった後肝臓病を発症することで知られています。	接種部位の発赤・疼痛、発熱など
小児肺炎球菌	細菌性髄膜炎や敗血症、肺炎、中耳炎の原因である肺炎球菌の予防接種です。	接種部位の腫れ、発熱など

五種混合	ジフテリア菌による高熱・咳・咽頭部の腫脹、百日せき菌による強い咳、破傷風菌による神経症状、細菌性髄膜炎や敗血症の原因であるインフルエンザ菌b型、ポリオウイルスによる麻痺を予防する接種です。	接種部位の腫れ、発赤、硬結など 全身症状では発熱、下痢など
二種混合	ジフテリア菌による高熱・咳・咽頭部の腫脹、破傷風菌による神経症状の予防接種です。	接種部位の腫れ、発赤、硬結など 全身症状では発熱など
結核（BCG）	結核の予防接種です。乳幼児が感染すると粟粒結核や結核性髄膜炎になり、重い後遺症を残すことがあります。注射はスタンプ式で管に細い針がついたものを上腕に2か所に押し付けて接種します。	接種側のわきの下のリンパ節の腫れ。接種後3～10日頃までに接種部位に発赤・腫脹・化膿がある場合（コッホ現象）は受診する。
麻疹風しん（MR）	麻疹ウイルスは感染力が極めて強いうえ、肺炎・中耳炎・脳炎などをおこすことがあります。風しんウイルスは発疹・発熱をおこしますが、年長児や大人は重症になりやすく、特に妊婦は妊娠初期に感染すると先天性風疹症候群の児が生まれる可能性があります。2回必ず接種してください。	発熱、発疹など
水痘	水痘ウイルスは、発熱と全身に水疱性の発疹をおこします。回復後も長く体内に持続感染し、体の免疫が低下すると帯状疱疹となって現れます。	発熱・発疹、接種部位の腫脹・発赤など
日本脳炎	日本脳炎ウイルスに感染すると、カゼのような症状ですむ場合もありますが、けいれんや意識障害を示す急性脳炎になることがあります。	接種部位の発赤・腫れ 全身症状として発熱・悪寒・倦怠感・急性散在性脳脊髄炎（ADEM）
HPV（ヒトパピローマウイルス感染症）	ヒトパピローマウイルスは性的接触のある女性であれば50%以上の方が生涯で一度は感染するとされています。当ウイルスは子宮頸がんを始め、肛門がん、膣がんなどの発生に関わっています。	多くの方に接種部位の痛みや腫れ赤みなどの症状がおこることがあります。また、まれに不随意運動などの重篤な症状が報告されています。重篤な症状として報告があったのはワクチンを受けた1万人あたり約5人です。（厚生労働省調べ）
RSウイルス ※母子免疫ワクチン	RSウイルスは呼吸器疾患の原因となるウイルスです。2歳までにほぼ100%の児がRSウイルスに一度は感染すると言われています。 定期接種で利用できるワクチンは母子免疫ワクチン（胎盤を通して胎児に抗体がつくワクチン）です。	疼痛、頭痛、筋肉痛など
おたふくかぜ	ムンプスウイルスは、耳の下や頬の後ろ側の耳下腺や顎下腺の腫れ、髄膜炎や難聴をおこすこともあります。症状がはっきりとしない場合もあります。	接種後2～3週間後に耳の下が腫れることがあります。

インフルエンザ	インフルエンザウイルスに感染することでおこる病気です。普通の風邪に比べて高熱、頭痛、関節痛等の症状が突然現れ、気管支炎や肺炎を伴うなど重症になる場合があります。	接種部位の腫れ、痛みなど 全身症状として発熱、だるさなど
高齢者肺炎球菌	肺炎球菌という細菌によって起こる病気です。この菌は気道の分泌物に含まれ、飛沫感染します。肺炎の予防や重症化を防ぐ効果が期待できます。	接種部位の腫れ、痛みなど 全身症状として発熱、だるさなど
新型コロナウイルス	新型コロナウイルス感染症にかかった場合の重症化を予防する効果が報告されています。	接種部位の腫れ、痛みなど 全身症状として発熱、頭痛など
带状疱疹	带状疱疹及びそれに伴う神経痛を防ぐ効果が期待できます。 ワクチンは生ワクチン（1回接種）と不活化ワクチン（計2回接種）の2種類があります。	接種部位の発赤、熱感、腫れなど 全身症状として発疹やだるさなど

7. 健康被害に関する救済制度

定期の予防接種によって引き起こされた副反応により健康被害が生じた場合は、予防接種法に基づく「予防接種健康被害救済制度」による救済を受けることになります。

任意の予防接種（おたふくかぜ・任意のインフルエンザ）による健康被害については、独立行政法人医薬品医療機器総合機構法に基づく「医薬品副作用被害救済制度」による救済を受けることになります。

申請が必要な場合は、かすみがうら市保健センターにご相談ください。